

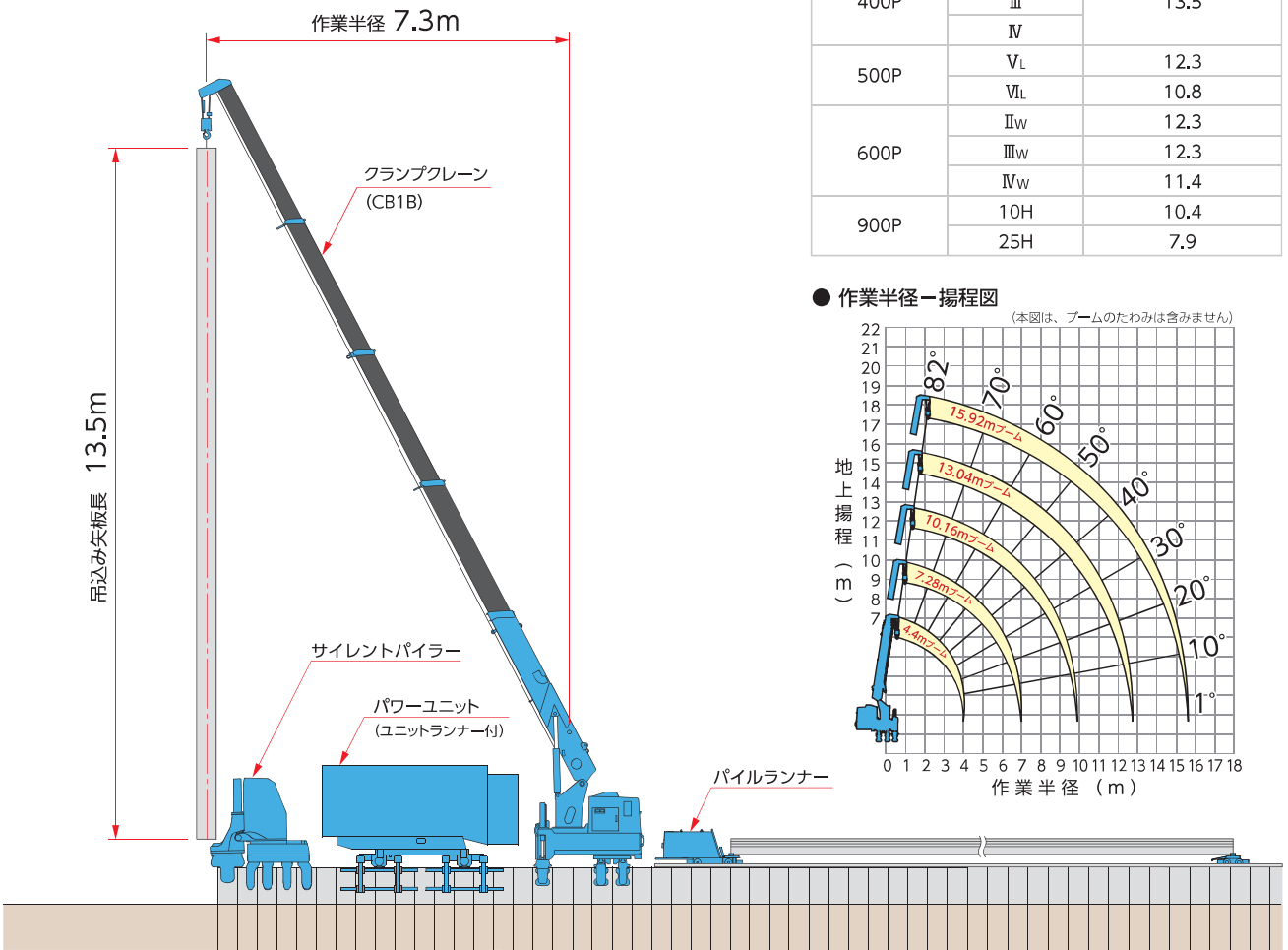
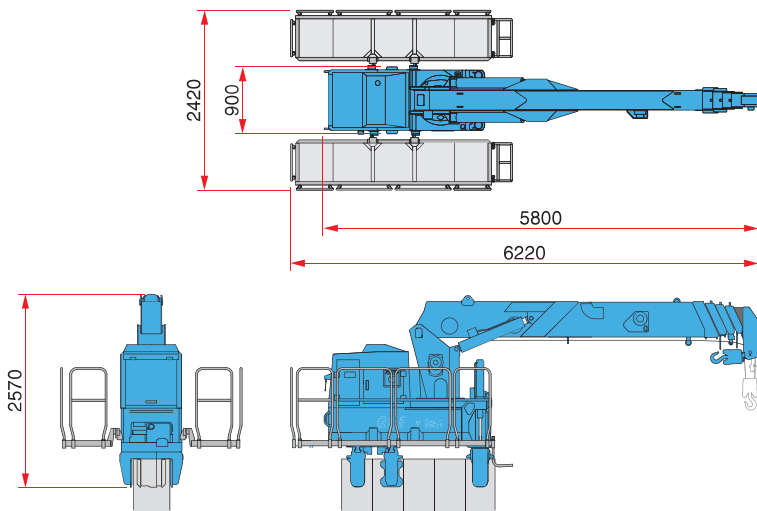
施工空間に関わる制約条件を克服し、仮設レス施工で圧入杭連続壁を構築

GRBシステム

クランプクレーン **CB1B** パイルランナー **PR1**
ユニットランナー **UR3** ステージ **ST17**



クランプクレーン CB1B



クランプクレーン	CB1B
クレーン能力	2.95 ton × 5.0 m
最大作業半径	15.67 m
能力	6.6 kW (9PS・ディーゼルエンジン)
適用杭材	U形鋼矢板 400~600ピッチ ハット形鋼矢板 900ピッチ
操作方法	ラジオコントロール
本体質量	5,200 kg
運搬台質量	280 kg
ステージ質量(片側)	60 kg

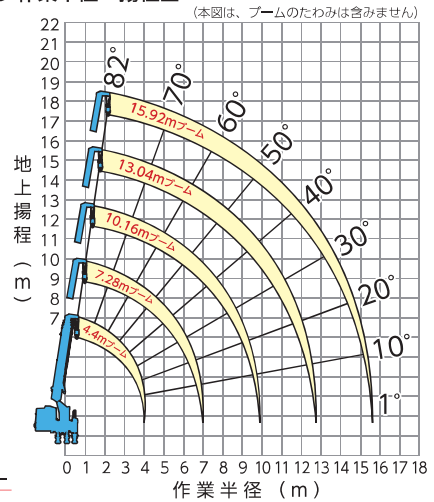
● 特長 (ブーム)

ブーム段数	最大ブーム長
5 段	15.92m

● CB1B吊上げ可能矢板長

ピッチ	矢板形式	長さ(m)
400P	II	13.5
	III	
	IV	
500P	VL	12.3
	VIL	10.8
600P	IIw	12.3
	IIIw	12.3
	IVw	11.4
900P	10H	10.4
	25H	7.9

● 作業半径-揚程図



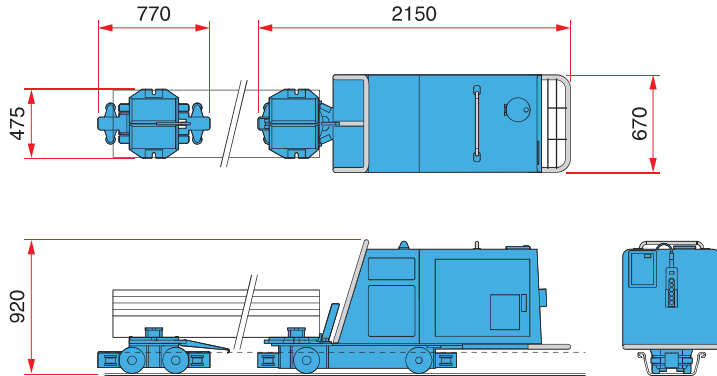
※ 実作業ではステージが必要となります。

● 定格総荷重表 (吊上げ荷重2.95 t)

	4.4m / 7.28mブーム (全周)										10.16mブーム (全周)										
	2.85m	3.1	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.03	2.85m	3.1	3.5	4.0	4.6	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	9.91		
定格総荷重	2.95	2.95	2.95	2.95	2.95	2.95	2.2	1.7	2.95	2.95	2.95	2.95	2.95	2.7	2.2	1.75	1.35	1.1	0.95		
	13.04mブーム (全周)										15.92mブーム (全周)										
作業半径(m)	4.5m	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	12.7	5.0m	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.67
定格総荷重	2.95	2.6	2.0	1.7	1.35	1.1	0.95	0.85	0.7	0.6	2.6	2.0	1.65	1.35	1.1	0.95	0.85	0.7	0.6	0.5	0.4

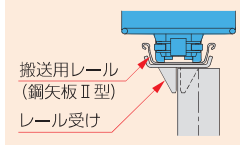
- ・ 定格総荷重は、吊り具等(フック重量35kg)の重量を含んだ値です。
- ・ 右表の作業半径は負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径を示しています。
- ・ 各ブーム長さを少しでも超えた時は、次のブーム長さの性能で作業して下さい。
- ・ 上図の13.04mブームとは4段目ブーム側板の「O」マークが3段目ブームより半分現れた状態です。

パイルランナー PR1

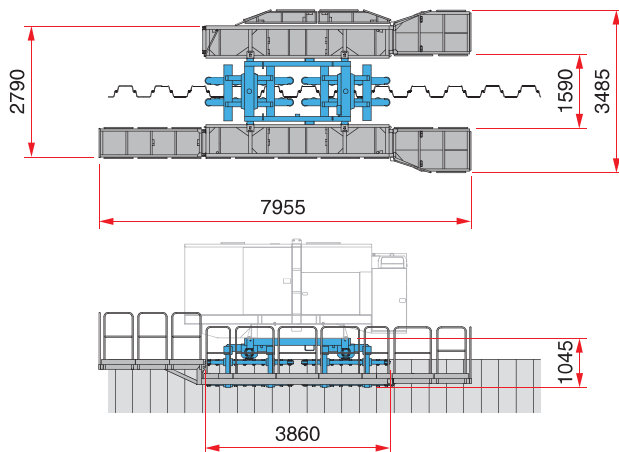


パイルランナー	PR1
積載能力	5.0 ton
質量	けん引車 645 kg 台車 140 kg
総質量	785 kg
積載可能杭材	U形鋼矢板400~600ピッチ ハット形鋼矢板900ピッチ ゼロ矢板(NS-SP-J) コンクリート矢板500ピッチ
搬送用レール	U形鋼矢板 II型

レール受け部



ユニットランナー UR3、ステージ ST17 (UR3用)



ユニットランナー	UR3
走行速度	10 m / min
最小回転半径	11 m
最大登坂可能段差	30 mm
適用杭材	U形鋼矢板 400~600ピッチ ハット形鋼矢板 900ピッチ
質量	2,350 kg
ステージ	ST17 (UR3用)
質量	720 kg
総質量	3,070 kg

※ ユニートを除く

※ 製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。

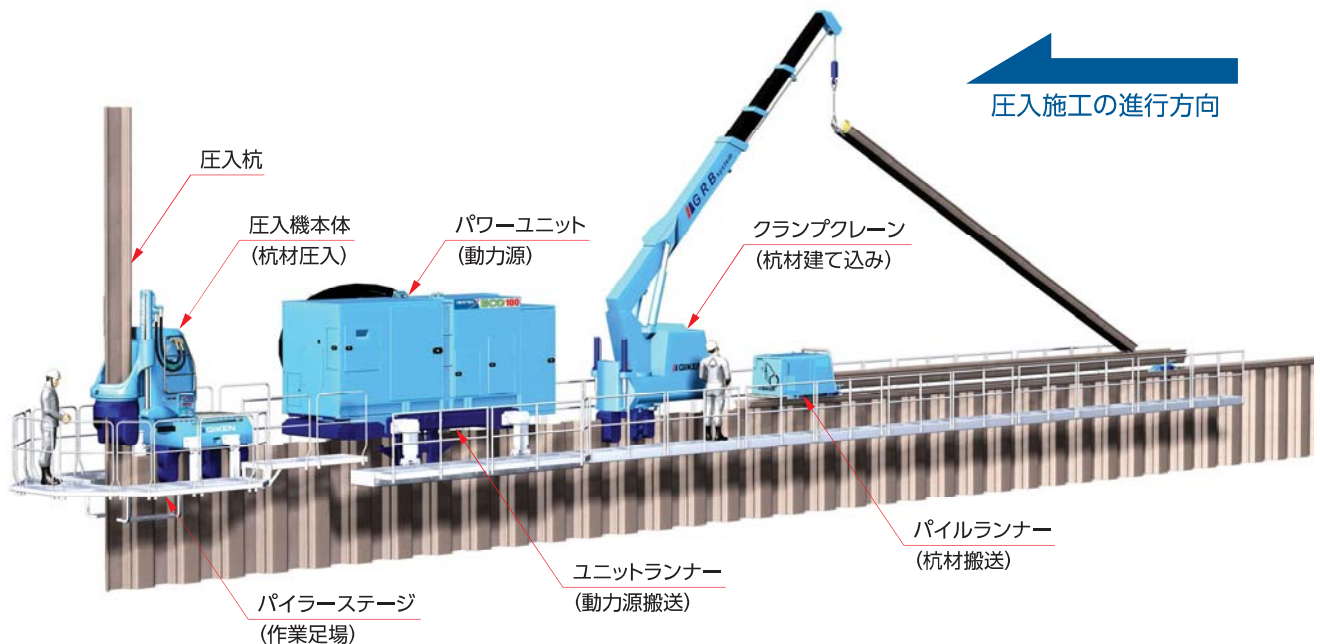


仮設レス施工を実現したGRBシステム

GRBシステムは、完成杭から反力を得る「圧入原理」を応用した施工システムで、杭の搬送・建て込み・圧入など圧入施工の全工程を完成杭上だけで完結させることができます。全ての機械装置が完成杭をつかんで自立しているため転倒の危険性は無く、工事の影響範囲は杭上の機械幅のみにまで抑えられます。

水上、傾斜地、不整地、狭隘地、低空頭地でも仮設栈橋や仮設道路など一切の仮設工事を不要とし、本来の目的である本体工事だけを効率的に行う“仮設レス施工”を実現しました。

■ GRBシステムの基本構成



G 株式会社 技研製作所 工法革命 インプラント構造で世界の建設を変える www.giken.com

【圧入機製品の販売・GTOSS・技術支援】企画営業部 プロモーション課 [E-mail pro-tokyo@giken.com](mailto:pro-tokyo@giken.com)

東日本 〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号 TEL **03-3528-1636**
FAX **03-3528-1660**

西日本 〒781-5195 高知県高知市布師田3948番地1 TEL **088-846-2947**
FAX **088-826-5288**

東北 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町3番10号 グラン・シャリオビル4階 TEL **022-380-6400**
FAX **022-380-6411**

【新工法提案・工法設計・積算・コンサルティング】工法事業部 工法推進課

〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号 TEL **03-3528-1633**
[E-mail koho@giken.com](mailto:koho@giken.com) FAX **03-3527-6055**

東京本社 / 〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号 TEL **03-3528-1630** FAX **03-5530-7061**
高知本社 / 〒781-5195 高知県高知市布師田3948番地1 TEL **088-846-2933** FAX **088-846-2939**

事業拠点 東京、高知、仙台、大阪、兵庫、福岡、イギリス、ドイツ、オランダ、アメリカ、シンガポール、中国（上海、香港）
研究開発 テクニカルセンター、実証試験場（7ヶ所） 情報発信 IPC国際圧入センター（東京、仙台、大阪、福岡）